

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名 高規格ICアクセス 国道354号 境岩井バイパス	事業 区分 補助国道	事業 主体 茨城県
起終点 自：茨城県猿島郡境町猿山 至：茨城県猿島郡境町伏木		延長 5.0km
事業概要 一般国道354号境岩井バイパスは、現在整備中の首都圏中央連絡自動車道（圏央道）境古河ICに接続する道路である。境地域周辺では、圏央道の整備に合わせ開発が進んでおり、今後も更に工場の立地及び交通需要が見込まれることから、物流の効率化や交通の分散による渋滞の緩和を目的とし、茨城県猿島郡境町猿山から境町伏木までの延長5.0kmを整備するものである。		
H13年度事業化	H13年度都市計画決定	H16年度用地着手
全体事業費 約94億円		事業進捗率 約49%
計画交通量 9,100台/日		供用済延長 1.74 km
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 7.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 33 / 125 億円 (事業費：27/119億円) (維持管理費：6/6億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 230 / 230 億円 (走行時間短縮便益：217 / 217億円) (走行経費減少便益：6 / 6億円) (交通事故減少便益：7 / 7億円)
基準年 令和2年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.7~2.0(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=6.3~7.7 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.8~1.9(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=6.4~7.7 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.8~1.9(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=6.8~7.2 (事業期間±20%)		
事業の効果等 ・茨城県猿島郡境町の中心市街地における交通混雑の緩和による、円滑かつ安全な交通の確保が図られる。 ・首都圏中央連絡自動車道（圏央道）境古河ICへのアクセス機能の向上が期待される。 ・緊急輸送道路ネットワーク機能の強化及び災害時における代替路の確保が図られる。		
関係する地方公共団体等の意見 ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・圏央道境古河ICの暫定2車線での開通（H27.3）		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約92%、事業進捗率約49%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。